

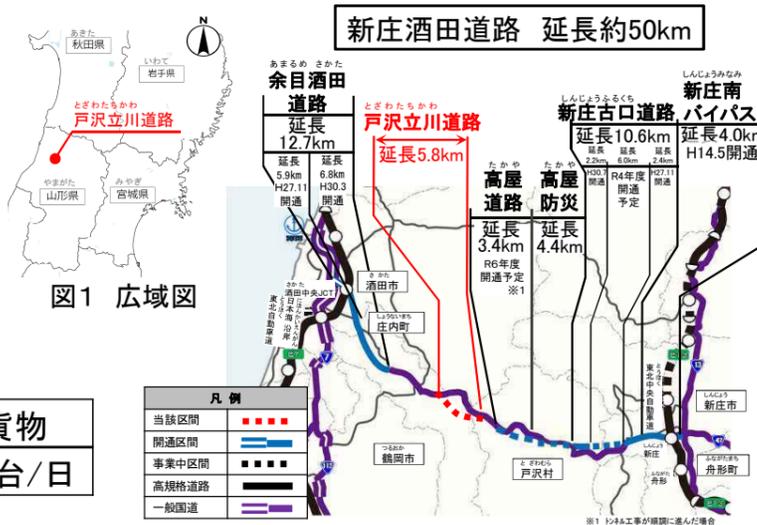
一般国道47号(新庄酒田道路)戸沢立川道路に係る新規事業採択時評価

- ・現道の課題を回避し、通行止めによる広域迂回を解消する信頼性の高い道路ネットワークの確保
- ・最上地域から三次救急医療施設への搬送時における安定性向上に寄与
- ・庄内～最上地域間のアクセス性確保により、周遊観光を促進し、地域の観光振興を支援

1. 事業概要

- ・起終点: 山形県最上郡戸沢村古口～山形県東田川郡庄内町狩川
- ・延長等: 5.8km
(第1種第3級、2車線、設計速度80km/h)
- ・全体事業費: 約220億円
- ・計画交通量: 約12,300台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約5,300台/日	約1,700台/日	約5,300台/日



2. 課題

① 通行規制リスクを抱える脆弱な道路ネットワーク

- ・当該区間は、急カーブが連続し、冬期には堆雪による幅員狭小や路面凍結が発生することで走行環境が悪化するなど、走行安全性・快適性に課題。(写真1、写真2)
- ・事故等による通行規制時の全面通行止め割合は約6割を占め、過去10年で10回発生。(図3、図4)
- ・全面通行止め時には距離にして約3倍、時間にして約2倍もの迂回が必要。(図5)

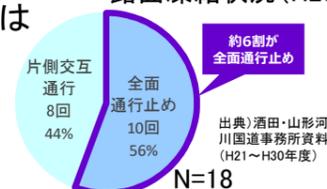


図4 当該区間の通行規制の状況

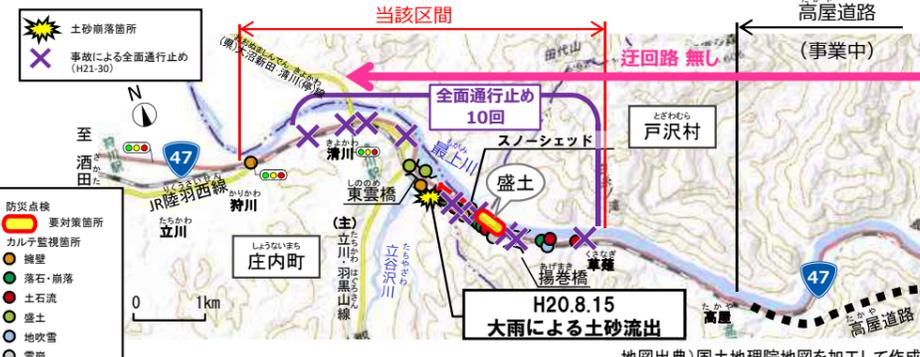


図3 対象区間の全面通行止め発生状況・防災点検箇所

② 三次救急医療施設へのアクセス

- ・最上地域は、大動脈剥離等の重篤な心疾患に対応可能な医師が不在なため、患者は庄内地域(日本海総合病院)などへ転院搬送されるが、唯一のアクセス道路である当該区間は、患者の安静搬送や冬期の走行性に課題。(図6)

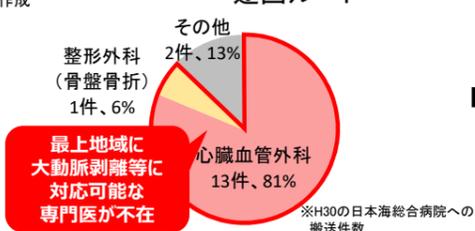


図6 日本海総合病院への搬送内訳(H30)

③ 広域観光に必要なアクセス性の不足

- ・国道47号沿線地域は観光資源が豊かであり、庄内・最上地域の観光スタンプラリーなど、広域観光促進に向けての取り組みを行っているが、観光客数は低迷。(図7、図8、図9)
- ・庄内・最上両地域の観光振興において、観光周遊の促進のため、国道47号の通行止めリスクを低減し、アクセス性向上が重要。

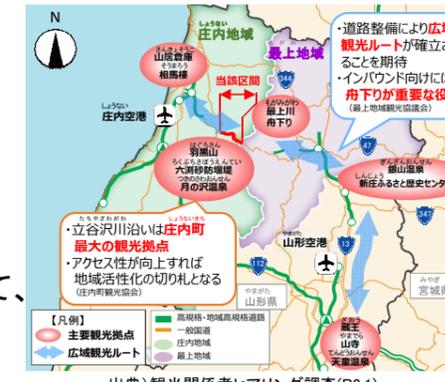


図7 主要な観光拠点及び広域観光ルートのイメージ

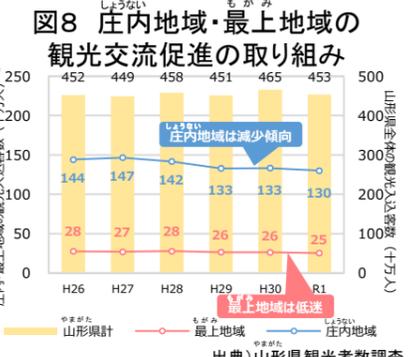


図9 庄内地域・最上地域への観光入込客数推移

3. 整備効果

効果1 信頼性の高い道路ネットワークの確保【◎】

- ・事故を起因とした通行止めによる広域迂回を解消
 - 通行止めによる広域迂回解消 酒田市役所～新庄市役所間
 - 【現況(迂回時)】164分 ⇒ 【整備後(迂回がなければ)】61分
 - 出典【現況】H27全国道路・街路交通情勢調査【整備後】事業中区分・対象区間は設計速度80km/hを適用

効果2 救急搬送時の安静搬送に寄与【◎】

- ・戸沢立川道路の整備により、道路の構造課題が解消し、最上地域から三次救急医療施設への搬送時における安定性向上が期待
 - 急カーブ(R<150m)の解消 【現況】3箇所 ⇒ 【整備後】0箇所

効果3 庄内～最上地域間のアクセス性確保による周遊観光促進【◎】

- ・通行止めリスクを低減することで信頼性を確保し、庄内～最上間の広域的な観光振興を支援
 - 死傷事故件数 【現況】14件/4年 ⇒ 【整備後】:3件/4年(約8割減少)
 - 出典【現況】JITARDA事故データ(H27-H30)【整備後】人身事故件数算定式で算出
 - 所要時間の短縮 山居倉庫(酒田市)～最上川船下り(戸沢村)
 - 【現況】49分 ⇒ 【整備後】43分(約6分短縮)
 - 出典【現況】H27全国道路・街路交通情勢調査【整備後】事業中区分・対象区間は設計速度80km/hを適用

費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し費用と比較したもの)

B/C	EIRR※1	総費用	総便益
1.3	5.8%	174億円※2	232億円※2

※1: EIRR: 経済的內部収益率 ※2: 基準年(R2年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

道路ネットワークの防災機能評価結果

改善ペア数	脆弱度(防災機能ランク)		累積脆弱度の変化量	改善度		評価
	整備前	整備後		通常時	災害時	
6	1.00 (D)	1.00 (D)	▲14.4	0.02	0.00	◎

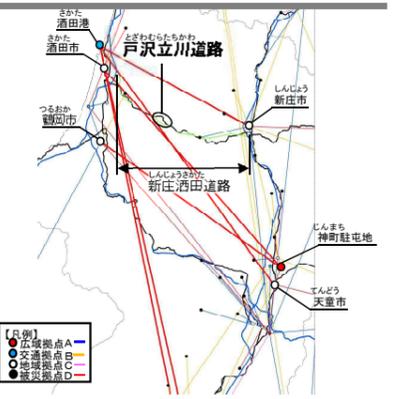


図10 整備後の防災機能ランク

一般国道47号(新庄酒田道路)戸沢立川道路に係る新規事業採択時評価

